



## 2021年度の東京支部活動

支部長 長谷川瑞穂

コロナ収束の見通しがつかない中、支部会員の皆様のご理解とご協力のお蔭で4月18日に滞りなく東京支部総会を行うことができました。議決権行使書107部と支部委員13名の出席で、議案15号が承認され、2021年度の支部活動をスタートすることができました。

本年度は、奨学金事業、「ともしび」70号、71号の発行以外に講演会等を企画致しております。6月19日には進士会員による「AI社会」という題のオンライン講演会を好評のうちに終えることができました。9月12日には、2019年度本部国内奨学生生のオンライン報告会を行う予定です。コロナ感染の状況により、11月にはできれば対面での講演会と懇親会を催したいと考えております。皆様、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。また、中山正子支部委員による4回のZOOM練習会は、参加者から大変喜ばれ、よい交流の場となりました。さて、コロナ禍では様々な新たな課題も浮上致しました。職種や雇用形態による格差、不平等も問題です。ノーベル賞受賞のインドの経済学者、アマールティア・センは、人間社会は多様で不平等であるからこそ何らかの次元で平等を求めざるを得ないと主張しています。センは、不平等などを測るには所得等だけでは不十分であり、より総合的な人の生きるための能力、ケイパビリティ (capability) が重要だと考えます(絵所他「アマールティア・センの世界」晃洋書房)。センのケイパビリティ・アプローチは、男女格差という不平等にも適用できます。多くの日本の女性は、男性と同等の社会参加というケイパビリティを奪われていることは、日本のジェンダー指数の低さでも明らかです。『ともしび』71号では、特集として再び「男女格差」を取り上げる予定です。今回は日本の制度の問題や世界の他国との比較など、広い視点からこの問題を捉え

ていきたいと考えております。多くの支部会員の皆さまからの御寄稿をお待ち致しております。

### コロナ禍の先を見据えて



企画担当副会長 城倉純子

昨10月開催の公開シンポジウム「コロナ禍を契機に見えてきた教育の本質」では、ご協力を頂きましてありがとうございます。ご協力により、コロナ禍の下、対面とオンラインの併用による開催は初めてでしたので、不行き届きの面が多々生じご迷惑をお掛けしました。この11月14日(日)に開催する全国セミナーでは、前回の経験を活かすスムーズな進行を心がけたいと思いますので、ご協力を頂きますようお願いいたします。昨年同様に対面とオンラインの併用開催、対面参加の会場は、JR神田駅前「エッサム神田ホール1号館」です。是非のご参加をお待ち申し上げます。

教育の本懐を問うた中村桂子氏による昨年の基調講演やパネリストの方々の現場の報告発表から導き出された方向性に鑑み、今秋の全国セミナーのサブテーマを、「コロナ後の共生社会を支える教育」としました。長期に亘り不確実な様相を呈しているコロナ禍の影響は、特にケア労働や非正規労働に従事する割合の多い女性に負担を掛け、悲惨な現状を呈し、コロナ以前から問われていた新自由主義経済の功罪を明らかにしました。また経済の悪化は、

困窮する学生や大学経営などにも及んでいます。さらには、デジタル化の功罪が未知数である中、GIGAスクール構想も前倒しで本格発動され、今後日本の教育が大きく変化していく動きが始まりました。その同時代に生きる私たちはしっかりと日常の実態を把握し、諸事実から得た知恵を次世代に伝える任務を背負っていると思います。コロナ禍の実態を探るアンケート調査も、前回に引き続き第2回目の実施を予定しておりますので、再びのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

東京支部はJAUW発足以来、2012年の一般社団法人への移行という大きな節目も共に乗り越え、ガバナンスへの貢献と優れた人材を内包するコア支部として活躍してきました。なぜ日本のGGIが120位なのか問われている今こそ、共益のみならず公益に資する女性団体として、本来の学びを社会に還元しようではありませんか！



花菖蒲 水墨画教室メンバー作品

## 第10回定時会員総会について

副支部長 森川淳子

2021年5月23日に開かれた第10回定時会員総会は、コロナ禍の下、昨年に引き続き、理事・監事5名の出席と、他の正会員は議決権行使書での出席による総会とし、本部会議室で開かれた。

総会の結果は、出席者467名(当日出席者5名・議決権行使書出席462名)。定款変更のための総正会員(687名)の3分の2以上の出席により、第2号議案から第5号議案まで、可決承認された。第1号議案は、議案の記載に間違いがあり、議事は行わず継続審議とし、6月21日に継続会を開き、改めて審議することとした。6月21日の継続会は、出席者427名(当日出席者4名、議決権行使書出席423名)。第1号議案は、可決承認された。継続会が終了したことにより、第10回定時会員総会は、終了した。

5月23日の午後、支部長、理事・監事、他2名計34名の出席でZOOMによるオンラインで支部長会を開いた。コロナ禍で対面では出来ないが、オンラインを使うことで、全国の支部長と会うことができた。

2022年の総会は、岡山市で開催予定。岡山支部で準備を始められている。新型コロナウイルスの拡大も収まり、総会、懇親会など一堂に会して開催出来ることを楽しみにしている。

総会、継続会に、森川は副会長として出席した。

## 2021年東京支部総会(書面審議)報告 書紀 坂上栄美子・田中紀子

開催日	2021年4月18日(日) 13:00~14:00
会場	JAUW本部会議室
会場出席者	支部委員13名
形式	議決権行使書書面審議による
1 総会成立確認	2021年4月18日13時現在、議決権行使書提出者有効数107名(提出者107名 無効数0名)。東京支部規約第10条第2項に基づき、東京支部会員193名の5分の1(38名)以上の出席により総会(書面審議)が成立することを確認した。
2 議長選出	東京支部規約第11条に基づき、長谷川瑞穂支部長が議長を務めた。
3 議事	
審議事項	第1号議案:2020年度東京支部事業報告 第2号議案:2020年度東京支部正味財産増減計算書内訳表・会計監査報告 第3号議案:2021年度東京支部事業計画(案) 第4号議案:2021年度東京支部予算書(案)正味財産増減計算書内訳表 第5号議案:2021年度東京支部新役員の選任 新役員候補者 会計:中山正子
4 結果	書面審議の結果、第1号議案~第5号議案すべての議案について、原案通り出席者(議決権行使書提出者)全員107名が承認した。

新型コロナウイルスの流行により今年も書面審議による総会となりました。総会当日は本部に支部委員が出席し、議決権行使書による総会を開催しました。会員の皆様のご協力に感謝し、ご報告いたします。

## 東京支部2020年度事業報告

## 支部事業

4月11日	支部総会 於本部会議室 委員出席と議決権行使書をもって開催
4月29日	支部委員会 新役員・委員にて発足(10回開催)
7月28日	支部国内奨学生募集 支部国際奨学生募集 「ともしび」第68号発行
10月	支部国際奨学金支給
11月11日	自由学園明日館見学
1月23日	支部国内奨学金支給
3月8日	「ともしび」第69号発行 投稿特集「私の先生」
	HPリニューアルにともない支部HP構成一新
	サークル 水墨画教室
	寄付活動 中野区視覚障害福祉協会へ使用済み切手送付

## 本部事業(主な事業・支部関連事業)

5月24日	JAUW第9回定時会員総会 於本部会議室 一部役員出席と議決権行使書をもって開催
6月~9月	JAUW国内奨学生東京支部圏 募集・選考・候補者推薦
10月18日	JAUW公開シンポジウム 於TIME SHARING 四谷B(オンライン併用)
1月24日	JAUW国内奨学金贈呈記念スピーチの会(オンライン)に支部長メッセージ

## 東京支部2021年度事業計画

## 支部事業

4月1日	支部総会議案を書面にて通知
4月18日	支部総会 於本部会議室 委員出席と議決権行使書をもって開催
4月18日	支部委員会 新役員・委員にて2021年度発足(10回を予定)
6月19日	講演会(オンライン)「AI社会」講師:進士多佳子会員
7月	支部国内奨学生募集
7月	「ともしび」第70号発行 支部総会報告
9月12日	2019年度JAUW国内奨学生報告会(オンライン) 「新型コロナウイルスでの勉強・研究と進路」 (共催:東京支部・国内奨学委員会・社会福祉委員会)
10月	支部国際奨学金支給
11月頃	懇親会 講演会「ミャンマー・マングローブ・気候変動」 講師:向後紀代美会員・向後元彦氏
1月	支部国内奨学金支給
3月	「ともしび」第71号発行 投稿特集「男女平等後進国を脱するために」

◎新たな企画は、随時お知らせします。

2020年度 東京支部 正味財産増減計算書内訳表 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(単位:円)

Table with columns: 科目, 実施事業等会計 (事業1-4), その他会計 (事業5-6), 支部計, 備考. Rows include 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 経常収益, 経常費用, etc.

資金残高(2020年3月31日現在)
実施事業等会計
その他会計

Table with columns: 現金, 銀行名, 預金額. Rows for 三菱UFJ銀行 and 三菱UFJ銀行.

会計
菊地 康子
早川 恵子

厳正に監査いたしました結果、正確に記載されており
間違いのないことを証明いたします。
2021年3月27日
会計監査 佐々木澄子 印
会計監査 鈴木 佳子 印

2021年度 東京支部 予算書(正味財産増減計算書内訳表) (2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

Table with columns: 科目, 実施事業等会計 (事業1-4), その他会計 (事業5-6), 支部計, 備考. Rows include 一般正味財産増減の部, 経常増減の部, 経常収益, 経常費用, etc.

### 支部長会議、オンライン開催

支部担当理事 長谷川瑞穂

昨年に引き続き本年度もコロナ禍のために定時会員総会を対面で行うことができなかったため、5月23日午後にはオンラインで支部長会議が行われました。理事、監事、24支部中19支部の支部長等34名の出席で、有意義な会が持てたのではないかと思います。

まず会長の挨拶では、大学女性協会の変遷、本会の財務状況の説明があり、最後に今後の事業継続のための80周年記念募金パトリスアのお願いがなされました。続いて、今回は各支部長、理事、監事の趣味を述べ、各人の人間的な側面に触れることができました。組織の運営にはお互いの人間性を知り、信頼し合うことが大切ですが、趣味を通して理解を深め、今後の交流に役立つのではと考えております。次に、理事、監事による担当業務に関する説明がありました。理事、監事の皆様にご協力いただき、事前に13資料をメール配信し、資料に基づいて説明がなされました。本部、支部が一体化して大学女性協会が発展することが不可欠ですが、お役に立てたら幸いです。

最後に質疑応答があり、3支部長よりの質問に本部の担当理事が回答しました。

2022年度はコロナの収束が期待され、定時会員総会、支部長会議とも、対面で開催されることを楽しみにしております。来年は岡山で定時会員総会、支部長会議が行われる予定です。岡山支部には大変お世話になります、よろしくお願ひ致します。

### 「ZOOM」アプリのインストール方法

▶ パソコン、タブレット、スマホ、お好きなもので「ZOOM ダウンロードセンター」にアクセス  
<https://zoom.us/download>



▶ その「ダウンロード」という文字をクリック。数秒～数十秒でアプリがダウンロードされます。→そのアプリをクリックするとインストールが始まります。インストールが終わると画面にZOOM マークが出て完了!

▶ 会議時は事前にメールで「ZOOM ミーティング招待」アドレスが届きます。それをクリックすると会議に参加できます。

### ご自宅にいながら集まりに参加できるのは便利です。東京支部の「オンライン練習会」

J A U Wでもオンライン会議や講演会が多くなりました。東京支部では、6月開催の初めてのオンライン講演会に先立ち、練習会を4回開催。参加者は延べ46名。経験はあるけれどもまだ不安な方、新しいことに挑戦したくて、という初めての方、また遠く各地の支部からもしらっしやいました。無事に入室・参加できたら、簡単な自己紹介。そして、画面表示の切り替え、チャットの書き方、名前の変更、背景を変える、など皆で繰り返し練習。そのうちに、お顔なじみになって楽しいおしゃべりの場に変貌。これからも開催していきますので、ぜひ一緒に練習を。



↑5月12日の練習会  
←6月19日の講演会  
ディスカッションの様子  
(画面の一部)

### 今後のオンライン練習会

どうぞお気軽にご参加ください!

- 8月4日(水) 11時～12時
- 8月20日(金) 20時～21時

9月以降も開催予定です。お問い合わせください。

お申し込み、お問い合わせ：  
中山正子(東京支部講座・見学担当)  
Email : [jauw.tokyo@gmail.com](mailto:jauw.tokyo@gmail.com)  
電話 : 045-541-2481 携帯 : 090-6514-8135

# AI社会 アイディアの歴史とこれから

講師 進士 多佳子 しんじ たかこ



COVID-19で多くの行事が中止となる中、東京支部では4回のZoom練習会を経て、6月19日(土)午後にオンライン講演会を開催。東京支部23名、他支部20名、一般4名を迎え、総参加者47名。活気のある楽しい支部交流にもなった。

講演は「知能を創る」イメージは古代からあり、キプロス島のピュグマリオンが理想の女性ガラティアの彫像を創り、それに恋してアフロディーテに息を吹き込んでもらい妻にするというギリシア神話から始まった。17世紀以降、計算機械の模索、2進法の考案、自動計算機と記号との融合、20世紀にはプログラム内蔵のコンピュータができ、21世紀はさらに発達。ついに人間の脳にチップを埋め込む未知の世界へと私たちを導く。

## 講演本編(スライドで解説)

- 「人工の知能」という発想はいつからあったのか?
- どんな人物が何を目指してどのように研究してきたか?
- 現在はどこまで進み、将来はどうなりそうか?  
～「良いAI」と「悪いAI」とは?
- AIに関する倫理的議論、主張にはどんなものがあるか?  
(事前配布資料「AI略史インフォグラフィック」)

また、進士さん自身の研究にも触れた。インターネットの定着で便利になる中、昭和やそれ以前の一般のアナログ情報を取り残さないことが重要。生活や文化体験について家族の会話から記録、継承するシステムを開発中である。

## [ディスカッション] 講師から3つの話題提案

①「おばあさん仮説」(生殖時期を超え長く生きるのは人間だけ。そこには後進のケアという役割があるという説)について② 残すべきアナログの情報とは? ③ JAUWだからこそできることは?

## 参加者の意見

- ・幼い子と老人と一緒に暮らすことで知恵を出し合い、時間の過ごし方もよく似ている。
- ・AI利用の兵器(キラードロイド)反対が世界で61%、つまりAI兵器に賛成の人がいるようだが、AIは絶対に平和的に使われなくてはいけない。
- ・アナログ保存は昔を知る上で大切。当時の物を実際に見たい。金沢は震災に会わなかったので古いものが残っている家が多い。女性のことが古文書に載っていないので調べたい。
- ・講演はとても楽しかった。AIも、人在りきだなど感心。人との付き合いも、自分たちの文化・伝統の伝達も大事。人の経験に尊敬を抱きながらAIも学びたい。これこそJAUWのできる生涯学習である。
- ・仮に倫理なり原理そのものが悪しくなければ、今は人間が退化しているようなところがあるので、今の人間を引っ張るリーダーシップを発揮させるAIを望む。
- ・茨城支部では「おばあちゃんの子育て」を行っているが、東京支部とコラボして何かできることがありそう。
- ・AIの歴史に登場する多くが男性。JAUWでも性を超えて果たす例があるのでは、そんな中に未来があるのではないかと(講師より、数学者の新井紀子氏、IBMフェローの浅川智恵子氏の名前が挙がる)
- ・哲学者のガブリエルはテクノロジーへの警告とともに、「子どもの時から倫理を学ぶべきだ」と言っているが、ここにも

- JAUWの必要性がある。リベラルアーツも推奨していきたい。
- ・英語の授業で「AI先生」というシステムを採用した。しかし生徒の質問の英語が聞き取れないことがある。(講師より、「自然言語処理の発達は目覚ましく、近いうちに完成度が増すと思う。一方、国に関わらず人間自身の言語能力の低下を指摘する研究者もいる」)
- ・過去の「その時代に当たり前」だったことは伝わらない。そこにこそ現在の人々にとって価値のあるものがあるのではないかと。たとえば、女性が盛んにお喋りした井戸端会議。これからそれをいっそう意識して残してほしい。(男性参加者より)

最後に進士さんは、「支部を超えてお話ができて良かった。JAUWの情報交流がより外へも進んでいってほしいと思います」と結んだ。また参加者に、浅川智恵子さんの「誰1人取り残さない社会の実現に」ほか動画情報を配信した。▼終了後に寄せられた声からいくつかを以下に紹介する。

- ・ある種、感無量の内容で楽しかった。現役時代の私の専門は計算機科学、情報処理、数理論理学、人工知能などコンピュータを取り巻くテーマを扱っていた。歴史の講義ができるほどAIが進んできたことに隔世の感。科学と倫理については古くて新しい問題で、とても一つの結論がでるものではないが、そんな話を聞いたのが今日の成果だった。
- ・AIの話は難しいだろうと敬遠してきたが、分かりやすく興味深く聞けた。知らない世界への一歩となり次の機会が楽しみ。
- ・AIと人間の感性をどのように折り合いをつけていけばよいのかが課題。介護や労働への利用は歓迎だが軍事利用の恐ろしさも感じる。(一般の方から)
- ・沢山の資料に基づいて、素人の私たちでもついていける説明のおかげで、確実に正確な知識が得られたように思う。何よりも、今の時代を生きる私たちが、AIに対する関心、知識を持ち、利点ならびに問題点も認識する重要性が伝わってきた。

◆また、長崎支部の梅田会員は元プログラマーでシステムエンジニア。視覚障害者の方のボランティア「長崎県音訳の会」の声の情報誌「こだま」2月号で浅川智恵子さん開発の「AIスーツケース」を紹介されている。(進士さんは以前に梅田さんから浅川さんの存在を聞き、深く賛同したのだそうです)

記録: 鷲崎千春

## JAUWの皆さまへ: 「良いAI」のある社会に向けて

「AI社会」は加速し、すでに私たちはユーザーになっています。何よりも福祉や医療においては今後への期待が高まります。しかし専門家でない限り、テクノロジーの進歩に対して理解がついていけなくなっているのが現実です。1人でも多くごく基礎的な流れを共有して、これからあってほしい「良いAI」、そして、「止めるべきAI」について話し合い、声を社会に出していくことが大切だと考えています。▶資料は随時ご提供できますので、その際は東京支部・進士までご連絡ください。

進士多佳子

※書籍編集、科学史および情報工学研究。日本大学大学院生産工学研究科数理情報工学専攻博士課程後期・古市ラボ所属、知恵の継承研究所、JAUW東京支部委員デジタル担当

員稿  
会寄

## 中村道子先生を偲んで

事業担当理事 藤谷文子

私と中村道子先生との出会いは日本で行われた第25回IFUW世界大会の折ご一緒に働いた時です。私は元会長の今井けい先生と一緒に開会式、閉会式の準備に携わり、その担当トップにいらしたのが道子先生でした。若い私(その頃は)にとっては雲の上の人なのに何を質問してもいつも穏やかな笑顔で優しく接してくださいました。昨日のことのように思い出します。

特に記憶に残っているのは美しい英語の発音です。IFUWで委員を歴任なさっていらしたことからそれは納得がいきます。

先生らしいエピソードがあるので披露いたします。世界大会は横浜で行われたのですが、準備のため1年以上前から各担当に分かれて動き始めていました。前の年の夏に私が自分の不注意から足を骨折してしまい、大事な準備委員会に欠席しなければならなくなり今井先生もイギリス滞在中だったので、恐る恐る道子先生にお電話して事情を話したところ「国際会議は来年年のよーあと1年もあるわ!ちゃんと治して来年沢山働いてよからうから安心なさい!怪我が今年でよかつたわね!」とあの笑顔で仰る

様子が電話の向こうから伝わり、緊張していた私をウィットで和らげてくださり思わず涙が出てしまいました。えらい方と思っていたのが話しやすい方に代わりました。先生は大輪の向日葵のような存在でした。心からご冥福をお祈りいたします。



左より中村道子さん、山本和代さん、今井けいさん、筆者、横橋貴子さん  
1995年IFUW国際会議Farewell Partyにて

## 2019年度 東京支部国内奨学生(チャレンジ奨学生)レポート

お茶の水女子大学教育学部  
言語文化学科中国語圏文化コース卒業

中家晶瑛  
なかいえ しょうえい

私は前大学を卒業後、国際航空貨物運輸会社に新卒で入社し、カスタマーサービスの部署で電話対応に2年ほど従事しておりました。その業務において、日々電話先で日本語を話す外国人のお客様と多く接する機会があり、そこから生じる言語文化の摩擦に悩む経験をしたことから、日本語教育に興味・関心を持つようになりました。そして前大学在学時では専攻としていかなかった日本語教育学を学んでみたいという思いから3年次編入学に至りました。

編入学後、主専攻で中国語学や中国文化、副専攻で日本語教育学における日本語文法、社会言語学等に関連して学びました。このように主専攻と副専攻と2つの分野を学べたことが私に好機をもたらしました。さまざまな分野の多くの研究に触れ、新たな視点を得るたびに、自分が就労時に抱えていた無知による偏見や思いこみという、いわば視界における霧が、たちまち薄くなっていくのが感じられたのです。知識や研究成果を知れば知るほど自分の凝り固まった外国の言語文化に対するまなざしが、和らいでいく感覚がありました。

卒業研究は「中国人話者同士の会話における発話の重なり」をテーマに

取り組み、中国話者同士のインタビュー会話から、インタビュ中に発話の重なりがどのように生じ、その発話の重なりが、彼らの会話において意味するものを考察しました。コロナウイルスの影響で、卒業研究は自宅で1人で黙々と行っており息の詰まる苦しさもありましたが、そのような環境でもやりぬけたのは、ひとえにチャレンジ奨学生に採用していただけたことが自分の原動力であったからだ実感しております。

卒業後はお茶の水女子大学大学院人間創成科学研究科比較社会文化学専攻日本語教育コースに進学し、多様な文化を持つ人々の共生を実現するために、言語教育の研究を進めて行きたいと思っております。これからのグローバル時代における、新たな言語教育の私たちを提案できるような研究者を目指し日々精進していく所存です。

ご支援いただいた皆さまへの感謝を忘れず、日々研鑽を積むだけでなく社会に貢献する研究成果を出せるよう、覚悟を持ち日々一所懸命に取り組んでまいります。

最後になりますが、大学女性協会東京支部の皆さまに心より御礼申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく願いたします。

会員  
寄稿

# 「映画愛」に導かれて 安東桂子

皆さま初めまして。私はこの度、東京支部委員をお受けした安東桂子です。自己紹介を兼ねて一文をとということでしたので、常に我が人生と共にあった映画を中心に話させていただけます。

洋画好きの父と邦画好きの母に育てられ、幼い頃から映画には親しんできましたが、我が人生を変える一作と出会ったのは、ピッカ!ピッカ!の高校一年生の時でした。

それが、「ウエストサイド・ストーリー」。当時、一世を風靡していたこの映画を、初めて、友人と二人だけで見に行きました。もう、最初の数分で画面のとりこ。見終わったときには、我が全細胞が覚醒したような、不思議な高揚感に包まれていました。

以来、家族よりは友人、勉強よりは映画(本来、真面目なので、これには葛藤もありましたが)の高校生活となりました。限られたお小遣いですから映画は2本立ての2流館限定。当時5円だった官製はがきを買って、試写会に応募しまくる毎日でしたが、幸い、この投資は、かなり効率の良いものでした。

大学は、「女の人の職業としては先生がイイ」という母の勧めに従い教育系に。しかし、直行したのは映画研究会。ここで素晴らしい仲間に出会い、今にして思えば青臭い?16ミリ映画創りに、青春の4年間を捧げました。

いよいよ卒業を目前にして就活開始。新聞の求人欄で見つけた小さな広告会社に、企画営業枠で入社。ここでディレ

クターに薦められ、コピーライターの道へ。さるパーティで亡夫と出会い、共に映画研究会出身ということで話が弾み、1年後に結婚。夫亡きあとは、彼が創設した映像制作会社を引き継ぎ、主に、外国映画に日本語字幕を付ける仕事を行ってきました。社長業は私が最もやりたくない職業の一つ。好きなコピーライターをやめるのは辛かったのですが、映画業界に身を置くことは喜びでした。

昨年の6月、年齢もあり、後継者問題もありで、私の持ち株を業界大手に譲渡し、晴れて自由の身となりました。幸い、この20年で会社の規模は3倍となり業績も良かったので、数社からオファーを受けましたが、この会社の社長が、偶然、映画研究会出身者。その映画愛に共感し、この人なら会社を託してもいいと思った次第です。

思えば、映画、そして人との出会いに導かれて、私は今ここに居ます。近年で最も印象的だった、元会長の中村久瑠美さんとの出会い。共に無類の旅行好き、美術好き、映画好きでフィーリングが合い、楽しくお付き合いさせていただく中でこの会を知りました。皆さまとの出会いが、会にとっても私にとっても実り多きものとなりますよう努めます。



## 東京支部の新サークル 「映画クラブ」へのお誘い

「映画クラブ」は、共に映画を見て語り合う楽しいサークルです。

若い頃はよく映画を見たけれど、この頃はあまり...という方も多いのでは? そんな方にこそおすすめなのが、この「映画クラブ」。誘いあつて映画館に繰り出し、その感動を気ままな、映画談義で分かち合いませんか。佳い映画にふれて、その時間はきつと、あなたの日常生活をより豊かにする、万端のスパイスとなることでしょう。

### ●主な活動内容

クラブ選定の映画をご一緒に見たあと、その映画について語り合います。映画の選定は主催者がさせていただきます。当方は、皆さまのご希望も反映されます。当方は、名画の殿堂として評価が高い岩波ホールやル・シネマ(文化村)の映画を中心にする予定です。将来は、ミニ講演会等も企画したいと思っています。

### ●会員資格と年会費

東京支部会員なら、どなたでも入会いただけます。他支部でも出席可能な方ならOKです。各イベントには、会員の紹介があれば参加いただけます。

当方は年会費無料ですが、場合によっては連絡費として年額一〇〇〇円程度いただくかもしれません。映画のチケット代、お茶もしくはお食事代が、その都度必要です。映画がお好きな皆さまのご参加をお待ちしています。

発起人 安東桂子、河井尚子、中山正子



### <映画クラブ お申し込み方法>

氏名とご連絡先をご記入の上、Fax、Eメールでお申し込みください。お電話でも構いません。

宛先 (中山正子)

●Fax/Tel:045-541-2481

●Email:jauw.tokyo@gmail.com

## 投稿募集

テーマ

# 男女平等後進国を 脱するために



世界経済フォーラムによる「男女平等ランキング2021」において、日本は何と120位。G7ダントツ最下位の現実を恥ずかしいと思わない女性はいないでしょう。よりよい日本をつくるために何ができるかという視点で、みなさまの投稿をお待ちしています。共に考え、進むために!!

文字数: 800字以内

締め切り: 2021年12月25日

掲載: 『ともしび 71号』

応募方法: メール添付または郵送

Email: jauw.tokyo@gmail.com

郵 送: 東京支部住所まで

記載事項: 所属支部、お名前、住所

連絡先(固定電話/携帯電話)

## 一般社団法人大学女性協会

## 東京支部国内奨学生(通称チャレンジ奨学生) 2021年度募集要項

一般社団法人大学女性協会東京支部は、企業、官公庁などでの就労経験の後、現在大学で勉学中の意欲ある女性に、その勉学を支援することを目的として奨学金を支給する。卒業後は再び就業し、自らのステップアップのみならず広く社会に貢献することを条件とする。

## I 応募資格

2年以上の就労(アルバイトを除く)の後、文部科学省の認可する東京都・沖縄県・神奈川県・埼玉県・千葉県・山梨県に本部を置く大学の3年次に在学する女子学生。卒業時まで同大学に在学することを条件とする。就労以前の学歴は問わない。

## II 支給額および募集人数

奨学金20万円を1名に1回支給する。返還は求めない。

## III 応募提出書類

(1) 履歴書・自己紹介書

1. 所定の様式による
2. 写真貼付
3. 履修科目は主な専門科目1科目であること
4. 履修科目の指導教員の職名・署名を必要とする

(2) 作文

所定の様式によりA4用紙1枚に1000字以内  
テーマ「どのような就労経験を経て、現在の勉学を必要と考えたか。その勉学を今後どう生かしたいかについて」

(3) 大学の在学証明書

備考(1)(2)は、ホームページからダウンロードし、印字可。

## IV 応募方法および締切り

応募者は応募書類を在学大学へ提出する。大学は一括して2021年10月21日(木)(必着)までに大学女性協会東京支部に提出する。

## V 選考結果通知: 本人および大学学長に11月末までに通知する。

## VI 支給: 1月予定。別途連絡する。

## VII 奨学生の義務

卒業後2カ月以内に「勉学の概要と現況」(800~1000字)を大学女性協会東京支部に提出すること。提出のない場合は、奨学金の返還を求められることがある。「勉学の概要と現況」は、支部会報「ともしび」に掲載する。「同封会報「ともしび」参照のこと。

問合せ先: 一般社団法人大学女性協会東京支部 支部長 長谷川瑞穂

Email: [jauw@jauw.org](mailto:jauw@jauw.org) URL: <https://www.jauw.org>

2021年度は東京支部国際奨学生の募集はありません。

## イベントのお知らせ

9月12日(日)

13:00~15:00



オンラインによる

2019年度JAUW国内奨学生報告会

## 新型コロナ禍での 勉学・研究と進路

~2019年度国内奨学生の視点から~

共催: 東京支部・国内奨学委員会・社会福祉委員会

講演会 (11月頃)

## ミャンマー・ マングローブ・ 気候変動

講師:

向後紀代美氏・向後元彦氏

(東京支部会員)

詳細が決まりましたら、お知らせします。

連絡先

Email: [jauw.tokyo@gmail.com](mailto:jauw.tokyo@gmail.com)

## サークル案内

### ● 水墨画教室

第二金曜日

午後一時半~三時半

場所 JAUW事務所会議室

講師 日高絹子(絹紅)会員

準備いただく画材につきましては、事前にご案内します。

連絡先 森川淳子

☎(045)58333430

## 2021年度

## 東京支部新入会員

安東桂子

(東京学芸大学)

石川麻乃

(北海道大学・北海道大学大学院)

前村治代

(実践女子大学短期大学部)

\*敬称略 \*50音順 括弧内は出身校

## お悔やみ申し上げます

中村道子 様

2021年2月16日 ご逝去

八木江里 様

2021年3月4日 ご逝去

竹中はる子 様

2021年4月27日 ご逝去

## 2021年度 東京支部委員会

支部長 長谷川瑞穂

副支部長 森川淳子

書記 坂上栄美子 田中紀子

会計 菊地康子 中山正子(新)

支部委員 安東桂子(新) 太田恵子

河井尚子 木村和子

嶋田美恵子 進士多佳子

野瀬久美子 藤村久美子

監査 佐々木澄子 鈴木佳子

\*50音順 \*記載後に括弧の記載がない委員は再任

## 支部からの連絡

●住所等の変更はお知らせください。  
●会費未納の方はお早目にお願います。  
●91歳以上の会員の会費は免除することができます。支部長までお申し出ください。

●中野区視覚障害者福祉協会支援のため使用済み切手を事務所までお送りください。

## 《編集後記》

今年度は経験豊かな頼もしい新編集委員を迎え、また、コロナ禍の中、オンラインを使つての活動にも新しい参加者を得て変化を感じています。

伝えよう、学ぼうの積極的な協力の中「ともしび70号」も無事にお届けすることができました。お礼申し上げます。いつも皆様からのご意見をお待ちしております。

(編集担当 嶋田進士&安東)

ともしび 第70号 発行日: 2021年7月20日(火)

編集/発行: 一般社団法人大学女性協会東京支部 〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889 Email: [jauw@jauw.org](mailto:jauw@jauw.org) URL: <https://www.jauw.org>

制作協力/印刷: 株式会社 繁松

※「ともしび」は会員のための情報誌です。外部に向けた転載、引用などは事務所までご一報ください。